

令和 8 年度（2026 年度）の学校経営方針

広島大学附属福山中・高等学校

校長 半井 健一郎

広島大学附属福山中・高等学校は、そのミッションを以下のように定め、下記に掲げる教育理念に基づく学校教育目標の実現に向けて、教職員が協働して絶えざる努力を払います。

附属福山中・高等学校のミッション

本校は、教育基本法ならびに学校教育法に基づいて中等教育を施すとともに、広島大学の附属中・高等学校として、以下の事項を特別の任務とする。

- (1) 広島大学との密接な連携のもとに、中等教育の理論および実践に関する高度な研究を推進する。
- (2) 広島大学との密接な連携のもとに、その学生の観察・参加・実習に当たる。
- (3) 長きにわたる中高一貫教育の伝統に基づき、高度な教育研究を実践し、その成果を積極的に公開する。

附属福山中・高等学校の教育理念（目指す生徒像）

- ・フロンティア精神をもって、絶えざる創造と自己更新を続ける人間
- ・21 世紀、地域社会に根ざしつつ、国際社会に目を向ける人間
- ・自由と自主の精神をもって、学問的探究と創造をする人間
- ・学問的探究における論理的・批判的思考力と科学する能力をそなえた人間
- ・自由と自主の精神をもって、日本と世界の真に豊かな社会を創造する人間

附属福山中・高等学校の教育目標（学校全体としての教育目標）

- ・自由と自主の精神を追求し、豊かな教育環境を創造する。
- ・広く深い教養と確かな学力を保証し、生徒一人ひとりのニーズに応じた進路を実現する。
- ・備後を中心とした地域社会に貢献する人材を育成する。
- ・グローバル社会をリードする人材を育成する。
- ・質の高い教育実践を追求し、先導的な中等教育カリキュラムを提案する。

2026年度 学校経営重点目標

広島大学附属福山中・高等学校

校長 半井健一郎

【教育課題への対応, 大学・学部との連携】

- ① 広島大学と密接に連携し、新たな中等教育カリキュラムの開発を行う。
- ② 理工学系の学部などを含め、より広範な分野での連携を模索する。
- ③ 得られた学術的成果を、研究大会や学会での発表、論文投稿により広く社会に還元する。

【地域との連携】

- ① これまでの「総合的な学習/探究の時間」のカリキュラムにおける学外連携を強化し、先導的なカリキュラムの開発と普及を図る。
- ② 出張授業や他校の研究会に対する指導助言者の提供、本校の授業公開を活性化させるための組織的方策を検討する。
- ③ 生徒指導に関しても情報を収集・分析・共有する。

【役割・機能の強化】

- ① 中高一貫教育の伝統に基づく中等教育のモデル校としての役割を強化する。
- ② 広島大学附属学校園の機能強化策のもと、中等教育学校における先導的なカリキュラムを開発する。

【働き方改革】

業務全般の効率化・選択化による教職員の余力の捻出

- ① 部活動改革について、外部指導員活用の継続
- ② スクールソーシャルワーカーの活用の継続
- ③ 新たな教務支援システムの導入検討
- ④ 各種内規等の活用による情報共有の強化

【安全な学校環境の実現】

生徒および教職員の健康と安全が保障されるよう、より快適で安全な学校環境を実現する。

- ① 発達支持的生徒指導の一層の充実
- ② スクールカウンセリングの活用継続
- ③ いじめ防止基本方針の遵守と継続的な見直し
- ④ 管理職および産業医との面談継続